

2020年3月26日

電子地域通貨「さるぼぼコイン」とのATM提携開始

～セブン銀行ATMでスマホによるチャージ（入金）が可能に～

株式会社セブン銀行（以下 セブン銀行、東京都千代田区、代表取締役社長：舟竹 泰昭）は、飛騨信用組合（岐阜県高山市、理事長：黒木 正人）が運営する電子地域通貨「さるぼぼコイン」とATM提携し、2020年3月30日（月）より利用可能となりますので、お知らせします。



「さるぼぼコイン」は、スマートフォンアプリ上で利用できる電子地域通貨であり、現在、1万人以上のユーザーが登録しています。「さるぼぼコイン」のアカウントにチャージされた金額の範囲内で高山市、飛騨市、白川村の2市1村にある飲食店やスーパー、市税の支払い等で利用することができます。

本提携により、セブン銀行ATMで原則24時間365日スマホによる現金チャージが終日無料でご利用いただけるようになります。電子地域通貨へのATMチャージ（入金）は、全国初の取り組みとなります。

なお、本提携は「さるぼぼコイン」のプラットフォーム「MoneyEasy」を提供する株式会社フィノバレー（東京都港区、代表取締役社長：川田 修平）と三者で進めております。

飛騨地域に暮らす全ての方々にとって、安全かつ効率的な決済インフラの提供を通じて、電子地域通貨の安定と発展に貢献いたします。

— 記 —

- サービス開始時期：2020年3月30日（月）
- サービス内容、ご利用可能時間及びご利用手数料

サービス内容 ^{〔注1〕}	ご利用可能時間 ^{〔注2〕}	ご利用手数料
チャージ（入金）	終日	無料

〔注1〕チャージ金額は1,000円単位で、コインへのチャージ上限は、「さるぼぼPay」が10万円、

「さるぼぼBank」は200万円となります。※ATMの1回あたりの入金限度額は50万円です。

〔注2〕セブン銀行ATMが設置されている施設の営業時間外はご利用いただけません。

⇒次ページへ続く

■ 「さるぼぼコイン」について（HP：<https://www.hidashin.co.jp/coin/>）

- ・飛騨信用組合が普及を推進している、スマホアプリ上で利用できる電子地域通貨。
- ・お金の地産地消を促進し地域経済を活性化する目的で2017年12月に商用化を開始、金融機関を発行母体とした国内初の電子地域通貨として注目されている。
- ・高山市、飛騨市、白川村の2市1村にある飲食店やスーパー、市税の支払い等で幅広く利用することが可能。

<2020年2月末時点の利用状況>

ユーザー数：11,357人

加盟店数：高山市、飛騨市、白川村の計1,223店舗

総流通額：約14億円

■ 株式会社フィノバレーについて（HP：<https://finnovalley.jp/>）

- ・デジタル地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」を軸としたフィンテックソリューションを通じて、世の中の様々な課題の解決を目指しているフィンテック事業会社。
- ・「さるぼぼコイン」のほか、千葉県木更津市の「アクアコイン」、小田急電鉄の新宿シネマ&バル WEEKの「シネバルコイン」などの支援実績がある。

<セブン銀行ATMチャージの流れ>

1 STEP
「スマートフォンでの取引」を選択

2 STEP
ATM画面に表示されたQRコードをスマホで読取り

3 STEP
スマホに表示された企業番号を入力

4 STEP
ご入金したい金額分の紙幣をATMへ投入

5 STEP
入金完了画面

さるぼぼコイン
SARUBOBO COIN

チャージ完了